

# 製造現場リーダー向け「改善の基礎」徹底研修

～体験学習(プラモデル作り)を通じてQCDや改善の考え方・進め方を徹底的に学ぶ～

● 日 時 2021 年 8 月 3日(火)、4日(水) 10:00～17:00 <2日間通学>

● 会 場 名古屋中小企業投資育成(株) 研修室

● 講 師 5S経営研究所(株) 代表取締役 中小企業診断士 山名敏文 氏

● 対 象 者 製造系企業のリーダー、監督者、管理者およびその候補の方

● 持 ち 物 筆記用具

|         |    |          |          |                  |
|---------|----|----------|----------|------------------|
| ● 受 講 料 |    | 投資先企業    | 投資先以外    |                  |
|         | 1名 | 22,000 円 | 44,000 円 | 消費税込み(昼食代を含みません) |

## ● 研修のねらい

本研修会では、現場主義を実践するための基本である「改善」について、プラモデル「水陸両用車」の製造を通して学びます。単に「水陸両用車」を作るのではなく、お客様の要求である品質を維持しながら「陸上も、水中も走行することができる水陸両用車」を割り当てられたチームの全員で決めた目標時間内に、自分たちで工夫して作ります。3回の公式戦を行いながら、お客様が求める品質の製品を自分たちが決めた時間で、チームのメンバーで協力しあいながら製品を完成させ、収益を確保していきます。

本研修を通じて、QCDや改善とはどういうものであるか等について、チームワークで進めていき、職場の人間関係や指示命令の仕方、リーダー、作業員など職位に応じた仕事とは何かを理解しながら実習で学んでいただきます。そして立場の違いなどを理解しながら、若手社員への指導者としても基礎、基本の考え方であり、復習の意味で理解していただくことも目的の一つです。

併せて、以下の8項目について学習します。

- ①モノ作りの基礎技術(顧客の要望を満足させる力)、②現場現物主義(正しい仕事《QCDを満足すること》ができる力)、③QCD意識(問題発見力)、④工夫改善技法(改善案抽出力、改善の考え方、案の出し方の理解)、⑤工具・治具の作り方、使い方(工夫改善の確認力)、⑥5Sの必要性(儲ける5Sの実行力)、⑦チームワークの必要性(役割分担と対応力、とりまとめの重要性の理解)、⑧改善提案書、作業手順書の作成(記録に残す力)

## ● カリキュラム

※カリキュラムは一部変更させていただく場合がございます。ご了承くださいませよう願いたします。

| テ ー マ   | 実 施 内 容  |
|---|--|
| 1. オリエンテーション  | 1. お客様の要求事項(品質、コスト、納期)を満足するとは  |
| 2. カイゼンの極意<br>(1) カイゼン(改善)とは<br>(2) カイゼン(改善)テクニック(PDCA)<br>(3) 維持カイゼン・革新              | 2. 改善の考え方について、どういうものなのか、誰が行うのか、どうやって行うのかなどを知る  |
| 3. プラモデルを作ってみよう<br>～現状のQ、C、Dはどうなるか?～<br>(1) 目標と役割決定<br>(2) 改善ポイント発見<br>(3) 問題点の解決策の検討 | 3. 実際にプラモデル作りの公式戦を3回実施して、改善効果まで確かめます。<br>【現場の基礎技術の確認】<br>目的(Q、C、Dと収益をどうするか)の検討、作業分担計画決定<br>(1) 目的を明確にし、具体的方法をイメージ化して<br>(2) 実行計画を作成する<br>(3) 5S、安全面について正しい理解をし、実行する<br>(4) 治具の検討、技術の向上、改善の仕方<br>(5) モノを作る固有技術の確立<br>(6) 計画的な仕事と改善技術の確立 |
| 4. 改善したら記録に残そう  | (第一回公式戦)水陸両用車の作成<br>問題点の抽出と改善ポイント<br>改善の実験と改善提案書提出   |
| 5. 作り方の手順は?<br>(1) 「QC工程図」の書き方について<br>(2) 作り方を人に教えるには?                                | (第二回、第三回公式戦)水陸両用車の作成(問題点修復しての対応)<br>問題点の抽出と改善ポイント<br>改善の実験と改善提案書提出   |
| 【参考】動作経済の原則   | 作業手順書・改善提案書の共有財産化の仕方について   |

## 講 師 紹 介

**5S経営研究所株式会社 代表取締役 中小企業診断士 ヤマナ トシフミ 山名 敏文 氏**

名古屋工業大学卒業後、リンナイ(株)に入社。開発部にて燃烧板、酸欠装置等の研究を行い、約50件の工業所有権申請、取得、また国際特許も申請。子会社、ジャパンセラミックス(株)の設立、稼働に携わり、その後、その新会社に出向し、生産管理、品質管理、労務管理を担当指導。その後、'85年(社)中部産業連盟に入職し、本格的に企業経営のコンサルテーションを始める。2006年 5S経営研究所を設立し、独立、2009年株式会社にする。(www.5skeieikenkyusho.sakura.ne.jp)

特に現場主義のモノづくりを提唱し、創造的現場技術の向上をテーマに判りやすい生産システム改善→工程改善→現場改善へと一貫した教育訓練プログラムを開発。製造会社の指導・育成に多大な成果を上げている。最近では、5Sを単に、物だけの対象とはせずに、機械、情報、仕事、賃金と範囲を広げて、企業収益に繋げやすい手法を確立し、コンサルテーションの成果を上げている。特に、5Sの実施については「手の届く範囲を、即、ベストにする」と言う考えにより、いち早く効果が得られることを実証している。近著は「大不況に勝つ 山名式 5Sの進めかた<実践活用版>」(三修社)。「改善・提案活動の実践ノウハウ集」(共著)、技術情報協会(2015年)

●定 員 18名 (申し込み先着順・定員に達し次第締め切らせていただきます)

●申込締切日 2021 年 7 月 13 日 (火)

●お申し込み・キャンセルについて

- ①下記の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてご送付下さい。
- ②申し込み受付後、「受講証」と「請求書」をお送りしますので銀行振込にてお支払下さい。なお、開催日の1週間前になっても受講証が届かない場合は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡下さい。
- ③申込締切日前でも定員を超える申し込みがあった場合には、お断りさせていただくことがあります。
- ④申し込み人数が5名以下の場合、やむを得ず開催を中止させていただくことがあります。
- ⑤受講の取消しをされる場合は、開催日の前日より数えて3営業日前(土日・祝日、年末年始を除く)の午後5時までにご連絡下さい。それ以降のキャンセルに関しては受講料をご返金できませんので、ご了承下さい。

### お申し込み・お問い合わせ先

株式会社投資育成総合研究所(略称:投育総研) M&T研修会事務局 (担当)原、加藤  
 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南一丁目16番30号 東海ビル7階(名古屋中小企業投資育成(株)内)  
 TEL : 052-581-9545 FAX : 052-583-8501 E-mail : mandt@sbic-cj.co.jp

**必要事項をご記入の上、切りとらずA4のままFAXにてご送付下さい。**

株式会社投資育成総合研究所 M&T研修会事務局 宛

FAX 052-583-8501

|              |                       |                   |   |
|--------------|-----------------------|-------------------|---|
| <b>受講申込書</b> | 製造現場リーダー向け「改善の基礎」徹底研修 | 2021 年<br>8 / 3、4 | 研修番号<br>19  |
| 貴社名          | 〒 -                   |                   |   |
| 住 所          | 〒 -                   |                   |   |
| 連絡担当者        | 氏 名                   | 所属名/役職名           | Eメールアドレス(任意)<br><small>研修会ご案内のための登録が不要の場合は、□に✓をご記入ください。 □ 研修会案内登録を希望しない</small> |
|              | TEL                   | -                 | FAX   |
| 受 講 者        | 所属名/役職名               | 氏 名 (フリガナ)        | 年齢  |
|              | -                     | -                 | -   |
|              | -                     | -                 | -   |

※ 申込書にご記入いただきました個人情報は、研修参加者名簿として研修の運営及び講師の参考資料として使用するほか、関連するアフターサービス、セミナー案内に関する情報のお知らせのために利用致しますが、他の目的には利用致しません。